

令和4年度 第3回福島市廃棄物減量等推進審議会 会議記録書

- 1 日時 令和4年12月23日(金)
10:00開始～10:45終了 所要時間45分
- 2 場所 福島市市民会館3階 301号室
- 3 出席者 委員8名、事務局12名、マスコミ1社(途中入退室)
- 4 会議録

次長	1 開会
会長	<p>2 会長あいさつ</p> <p>過去に市長からごみ有料化について諮問を受け、それに対して我々審議会は条件を付して、ごみ有料化についての答申を出した。長い間福島市内のごみの排出状況を見守ってきたが、この間多くの取り組みがあったにもかかわらず、残念ながら軽微なごみの減少に留まってしまった。前回の審議会では、ごみ有料化ということについて、審議会で意見を出していくということになっていたと思う。</p> <p>本日は市、特に市長へ意見書を出すにあたって、どのような意見書を出すのかということを検討する最終の場であるので、委員の積極的な意見をよろしくお願ひしたいと思う。</p>
ごみ減量推進課長	出席状況報告
次長	<p>それでは、早速議事の方に入っていきたいと思う。</p> <p>会長に座長をお願いする。</p>
会長	<p>3 議事</p> <p>今回は公開を原則としていることを報告しておく。傍聴の方は現時点ではいない状況である。</p> <p>まず、(1)「ごみ減量大作戦」の検証結果を踏まえたごみ処理有料化の導入に対する意見書(案)について、事務局より説明をお願いします</p>

<p>ごみ減量推進係長</p>	<p>る。</p> <p>(1)「ごみ減量大作戦」の検証結果を踏まえたごみ処理有料化の導入に対する意見書(案)について</p> <p>意見書(案)に入る前に前回委員の方から頂戴した意見を簡単に確認させていただきたいと思う。</p> <p>たくさんの意見を頂戴したが、その中で主な意見ということで、確認させていただく。</p> <p>まず、1つ目が、減量施策を実施してもなお目標値 890g 以下を達成できなかったため、最終答申のとおり、審議会として有料化はやむを得ないということ。</p> <p>また、2つ目として、有料化導入時期については、経済情勢が非常に厳しさを増している状況のなか、市民への経済的負担が心配されるため、災害発生やコロナ禍、物価高騰等の状況を見極めて判断すべきであるということを確認している。</p> <p>加えて、コロナ禍によりごみ排出量が増える自治体が多い中で、福島市は減少しているということは、市民の取り組みの成果の表れであるという意見も頂戴した。</p> <p>以上のような内容を踏まえて、事務局において意見書(案)を作成したので、資料をご覧いただきたい。</p> <p>(資料により説明)</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今事務局から前回の会議での意見ということで確認があったが、それらを全て取り入れると限りなく多くなり、玉虫色で何を言いたいかわからない内容になってしまうので、まず審議会としては、「ごみ処理有料化に向けた検討を進める」とはっきりと申している。ただ、実施時期については、様々な状況を勘案して検討すべきであるという補助的な言葉を付けた流れにしている。</p> <p>意見等あれば、願います。</p>
<p>委員</p>	<p>前回会長から、審議会は市または市長にこういう意見があると話を</p>

する団体だという発言があった。今事務局から説明があったような内容で、前回取りまとめたが、私としては、これでいいのかどうかという思いもあり、個人的に少し調べたことがあるので、その内容を紹介させていただきながら意見を述べさせていただきたい。

まず、家庭ごみ有料化の動きについて、環境省の情報や各市のホームページで確認した。今のコロナ禍の状況にあって、各市どのような動きになっているのかということで、調べたところである。

今年の令和4年4月1日には岡山県玉野市で有料化が進められている。同年9月1日には大分県中津市、同年10月1日には東京都武蔵村山市、そして来年、令和5年4月1日には愛媛県西条市、ということで、他市ではコロナ禍であっても有料化が進んでいる。もちろんごみの減量と資源化の推進という目的のためであり、その目的を達成するためには、有料化やむなしという状況にあったと思われる。

そして環境省の資料を見たところでは、令和3年度調査結果であるので、令和2年度の実績ではあるが、家庭ごみ有料化を実施している自治体は、全国市町村1,741自治体のうち1,123自治体で64.5%が全国の割合となっている。ところが福島県の市町村は59自治体のうち29市町村に留まっており、49.2%となっている。疑問に思い、少し調べたところ、私なりの解釈であるが、どうも東日本大震災による影響が一因なのかなと思っている。それらも踏まえ、先程事務局より説明いただいた（案）でいいのかどうかということを考えてきた。会長が述べたようにいろいろな表現があるかと思う。有料化する範囲、クリーンセンターに持込するごみについて話をしなくていいのかなど、いろいろ思うところはあるが、結論としては、事務局から提案された内容でいいのではないかと、そのような考えを持って、本日の会議に臨んだ。

※参考文献

- ・環境省。「家庭ごみ（粗大ごみを除く）有料化の実施状況について（令和3年度一般廃棄物処理事業実態調査結果(令和2年度実績)」。<https://www.env.go.jp/content/900537272.pdf>, (参照 2023-01-19)
- ・環境省。「一般廃棄物処理実態調査結果[環境省廃棄物処理技術情

<p>会長</p>	<p>報]』『処理状況—各都道府県別データ—福島—福島県集計結果(ごみ処理体制)』。 https://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/r2/index.html, (参照 2023-1-19)</p> <p>いろいろ調査していただき、参考になる意見をいただいた。</p> <p>福島県内で有料化率が低いというのはもう一つ理由があって、割と早めにごみの分別を指定袋で始めたところもある。その指定袋の導入というのは、有料化にはならないという位置付けになっている。有料化というのはあくまでも指定袋プラスアルファで手数料分を上乗せしているものである。県内でも一見有料化しているようで、指定袋を買っているだけで、手数料分のお金を負担していないというところも多い。そういう意味では、全国 60%と言っても、そこに含まれないで、実は指定袋を使っているという自治体もある。おそらく我々が有料化という意見を出すと、まずは指定袋を導入した後、それでも減量できない場合は有料化という意見や、指定袋の導入後に有料化となると大変な作業量が必要になるので、まとめて有料化した方がいいという意見など、行政や議会などが考えていくことになると思う。</p> <p>そのためにも我々はそういったところに働きかける意見を出すということが大切ではないかと思っている。</p> <p>他、意見等あるか。</p>
<p>委員</p>	<p>隣の伊達市の指定袋の料金が有料化している自治体に比べて、なぜこんなに安いんだろうと疑問に思っていた。</p> <p>伊達市は環境省のホームページでは、有料化になっていない自治体となっていたので、指定袋や有料化について私の認識不足であった。今の会長の話で合点がいった。</p>
<p>会長</p>	<p>理解されていない方は結構多いと思うので、この場で明らかにさせてもらい良かったと思う。</p> <p>他意見等あるか。</p>

委員

有料化の議題にはなっているが、具体的にどのようなことかわかっていなかった。ゴミ袋を買うことが有料化かなというぐらいに思っていたので、考えるきっかけになった。

それから、先程事務局で読み上げた意見書であるが、中間ぐらいの文章で、「コロナ禍や災害による排出増を推計し、それを除外してもなお排出量目標は達成されませんでした。」という文言が少しきついなかなというような気がする。実際コロナ禍にあってもごみは減っているわけであるから、この文言では何もしなかった、努力しなかった言葉の裏返しに聞こえるかなと思ったので、もう少し違う言葉を選んでいただけると助かるかなと思った。

以前は「燃やせばごみ、分ければ資源」というフレーズで、資源ごみとは言わなかった。資源は資源物であった。この捉え方が最近変わってきているなと思っている。家庭ごみというものは燃やせるごみが割合では多い。資源はごみとは言わなかったので、それで合言葉に「燃やせばごみ、分ければ資源」という言葉が結構あちこちで何年間か言われていた。また、『ごみ減量大作戦』のときもその言葉はあったはずである。それがどこかに行ってしまうと、少し寂しいかなと思っている。

あと、「しかし、ごみ処理有料化の導入について」以降の部分について、有料化の相談をしていく中で、どういった人たちに対しては有料化の減免をしていくのか、例えば、赤ちゃんのおむつだけはゴミ袋を無料で配るとか、生活弱者に対して支援できる場所など、これから話をして欲しいと思う。

それから、今後有料化になる場合には、例えばごみの収集場所をもう少し増やすということなども検討して欲しい。現状収集場所が遠いところにあり出すのに苦労している市民もいる。田舎に行けば行くほど遠いような気がする。例えば、町田市は、自分の家の前にごみを出しているため、市民はきれいにしている。車が入る限り、自分の家の前に出せるため、変なごみの出し方はしていないというのが現状である。結局は、自分の家から遠くに出すことが、ごみ分別や排出の気

会長	<p>の緩みになっている。もう少しごみ収集場所も検討してもらいたい。</p> <p>まず、最初の「コロナ禍や災害による排出増を推計し、それを除外してもなお排出量目標は達成されませんでした。」という文言は少しきつめなのではないかという意見があった。今の質問の認識が間違っていれば正して欲しいが、コロナ禍や災害によって努力してもごみは増えてしまっているの、その増えた分を除外したが、それでもあまり減っていなかったという事実に基づいて記載している。あともう一つは、先程の発言にもあったとおり、玉虫色で何を言っているかわからなくなるため、はっきり言った方がいいというようなこともあり、このような書きぶりになっているというようなことをご理解いただきたいというのが1点である。</p> <p>それから、ごみ分別について、「燃やせばごみ、分ければ資源」という表現について意見があった。いわゆる人口何十万人という括りで、福島市が過去に何度かごみ排出量が多いというような報道があった。あのごみ排出量というのは、「分ければ資源」と言っているが、分けてもそのごみ排出量にカウントされてしまうというようなところがあり、ごみ排出量とごみ分別をうまく切り離せないというようなところがある。</p> <p>それから、3番目の生活弱者についてだが、これについては、大切な指摘であると思うので、場合によっては、「しかし、ごみ処理有料化の導入については、次の事項に配慮が必要であると考えます。」の箇所の③に入れてもいいのかなと思うところである。</p> <p>それから、ごみステーションについて、世帯ごとに個別収集するという方法がある。都会だとそういうことをやっていたりする。福島市は街場であっても個別収集はしていない。ステーション収集だと思う。ごみ有料化の話に持って行って申し訳ないが、この件については、有料化になった時に考えていかなければならない重大な案件がいくつもある中での一つであると思う。また、ごみ有料化の最も大きな問題、それは何かというと、集めた手数料分の財源を何に使うかということである。</p>
----	---

	<p>何億円という財源が市に集まる。その財源を使って例えば、ごみステーションを増やすとか、ネットの補助をすとか、あるいは個別収集に対応できるかどうかはわからないが、そういうことも考えられる。ごみ有料化ということ投げかけることによって、例えば今意見があった収集について、中心市街地ではないところではごみステーションが少なくて大変だ、というようなことなどを盛り込んで考えていければいいかなと思っている。</p> <p>事務局から何かあるか。特段なければなしでよいか。</p> <p>他に意見等あるか。</p>
委員	<p>ごみの分別について、袋を導入する場合は何種類も出てくるのか。</p>
会長	<p>例えば、自治体によっては、5種類、6種類といったケースもあるが、福島市が仮に想定するとしたら、可燃と不燃、資源ぐらいだと思う。たくさん種類があるが、先程「分ければ資源」と言ったが、資源になるようなものについては、袋の値段を安くして、出しやすくしている。分別をすることで安い袋で出せるということである。</p> <p>管理する側としては、管理する手間があるし、それだけの袋を流通させることはコストも高くなるので、そのバランスを取るのがなかなか難しいのがある。</p> <p>他いかがであるか。</p> <p>意見がないようであれば、本日欠席の委員からの意見について紹介をさせていただく。</p> <p>既に委員の方には文書が送付されていると思うが、「ごみ減量大作戦」の検証結果を踏まえたごみ処理有料化の導入について（意見書（案））に関するご意見等ということで、本日欠席の委員から意見等をいただいた。</p> <p>1つは、ごみ有料化への広報不足の意見があった。「ゴミ有料化になる広報不足のような気がする。このままでは、近日中にゴミ有料化になると市民全員が危機感をもつような広報・PRをしてもらいたい。」ということで、市民へ働きかけようという意見だと思う。</p>

委員	<p>他は「特にありません。」ということだった。</p> <p>本日欠席だった委員の意見も含めて、概ねこの事務局（案）で良いという印象を持っている。生活弱者のことについては、③として書き入れるかどうか、事務局と私で預らせていただきたい。ただ、もし市長に意見として出さないということになった場合でも、審議会としてこれは引き続き取り上げていくべき重要な案件ということでご理解をいただきたいと思う。</p> <p>それでは、事務局で用意した意見書（案）、こちらの内容で決定してよろしいか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>一部修正が入る可能性があるが、その場合については、委員の方に意見書はこのように取りまとめられたということで、大幅に変わることはないと思うので、後日委員の方に共有するような形にしたいと思う。</p> <p>本日意見をいただいた意見書については、先程事務局から打診された1月16日に市長へ手交することになる。当日は会を代表して会長である私1名で対応したいと思っている。ぜひ参加したいという方がいれば、一緒をお願いしたいが、私1人でよろしいか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>それでは、当日代表して対応させていただく。</p> <p>本日の審議はこれで終わりとなるが、発言を頂いていない方で、意見書とは違うところでの考えや意見、話をさせていただきたいということがあれば、お願いしたい。</p> <p>先ほどごみ袋の有料化による増収の用途等については、その次の段階で取り上げられることになろうかと思っているが、今思っているということで話をさせていただく。おそらくだが、ごみ有料化を行った場合、意外と対応する負担量が増えるのは、ごみ置き場を管理する各町内会になると想定される。各町内会に対する説明、対応方法などに対する説明についても、ぜひ丁寧に対応していただきたい。</p> <p>あと、これまでの取り組みでもいろいろな広報活動を行ってきたと</p>
----	---

	<p>思うが、なかなか難しいという話があった。実際、何を使えば一番いいのかというのはないかもしれないが、昨日の市長の定例記者会見をYouTubeで見させていただき思ったことがある。印象に残ったのが、リサイクル料金のかかる品物である冷蔵庫などについて、それを引き取ってリサイクルをして販売する、そういう民間業者と提携を結び、昨日からスタートしたという内容が一部含まれていた。これはおもしろい事業だと思った。確かに壊れた品物を買替える場合ももちろんあるが、なんらかの事情で買替えなければいけない時もあるので、おもしろい取り組みだなと思って見ていた。要はどうすればこういう話を市民が気付くのかと思った時に、私のように時間がある時にはYouTubeを見るというスタイルができていない人とそうでない人、それから買い物にスーパーに行く人や配達を頼む人、また町内会にも参加しない人など、様々な市民がいる。そういった市民にも、新しく取り組む市の制度などについて、広く広報できるように、今まで以上に積極的に尽力していただきたいと思いをさせていただいた。</p>
委員	<p>LINE の市からのお知らせでジモティーとおいくらの連絡が来た。ごみ減量推進課が担当になっていたので、本日この場で聞こうと思っていた。</p>
環境部長	<p>後ほどご説明させていただく。</p>
会長	<p>実際にごみ有料化する前の2年ぐらい前から町会を回って説明しているというのが、多くの自治体がやっていることである。福島市は特に丁寧な市なので、その辺は大丈夫かなと思う。今までの町会で、『ごみ減量大作戦』のときには、各支所や学習センター等を回って説明している実績もあるので、その辺は事務局もよく理解していると思うので、よろしく願います。</p> <p>他意見等あるか。</p>
委員	<p>せっかくの機会なので、今までの「ごみ減量大作戦」の関係でお聞</p>

<p>会長</p>	<p>きしたいことがある。</p> <p>「ごみ減量大作戦」でごみ排出量を 20%減でやろうということで取り組んできて、各地区で「ごみ減量大作戦」の懇談会を開催した。費用対効果の観点から言うと、お金はかけたけど、さほど効果がなかったというのが現実ではないかと思っている。私どもの地区で 2 回ほどメンバーを替えてやったが、1 回に目集まったのが 12,3 人だった。3,000 世帯あるのにそれしか集まらなかった。これではどうしようもないのではないかということで、各衛生組合長に電話して、今度市の懇談会をやるから、最低 2 人ずつ出して欲しいなどの取り組みをした結果、2 回目は 20 人程度に増えた。それでもやはり、トータル的に見ると、まだまだ少ないかなと思う。こういった懇談会とかをやる時には、衛生団体連合会という組織があるわけだから、その組織を使って、参加者を多く増やすことが、ごみ減量化に繋がるのではないかという話をさせていただいた。これから懇談会を開催する時はぜひご利用いただきたい。その数字があれば、後ほどで結構なので、教えていただければと思う。</p> <p>それから、去年から、「ごみ減量大作戦」の最後の年であったかと思うが、雑紙を資源化で集めますというキャンペーンをやったと思われる。集積所に貼る「資源と雑紙を集めます」というポスターを見たときに、このポスターは 3 ヶ月もすれば破れてしまうのではないかと思った。本当にごみの資源化を、雑紙の資源化を進めるのであれば、やはり最低でも 5 年ぐらい持つぐらいのポスターを作らないと地域に浸透しない。私どもはそのポスターをラミネートして各集積所に貼ってくださいという要請をした記憶がある。</p> <p>やはり形はやるが、じゃあその本気度が本当にあるのかということが、非常に感じられた。いずれにしてもごみ減量化というのは、非常に重要な問題であるし、ごみの資源化ということも重要な問題であるので、そんな意味で市の本気度を示していただきたい。</p> <p>意見感謝する。</p> <p>連合会の力強いご助力をいただけるというような、力強いメッセージ</p>
-----------	---

<p>次長</p>	<p>ジもあった。あと非常に厳しいご指摘もあったと思うので、事務局には引き続き対応をよろしく願います。</p> <p>他意見等あるか。</p> <p>意見等ないようであれば、議事は終了とさせていただきたいと思う。以上で座長の任を解かせていただく。ご協力感謝する。</p> <p>会長、スムーズな議事進行に感謝する。</p> <p>また、委員の皆様においても貴重なご意見感謝する。</p> <p>それでは、続いて、次第の4その他について、事務局から説明をお願いする。</p>
<p>ごみ減量推進課長</p>	<p>事務局からであるが、先程会長から意見書の手交について、1月16日予定ということで話があった。会長においては、当日の対応もお願いしたい。</p> <p>市議会12月定例会の中で、ごみに関する一般質問等も出た中で、新聞等でご承知の方もいると思うが、令和4年度、今年度の10月までの排出量と昨年度同期の令和3年10月までの排出量についての内容があったので、この場を借りて報告させていただく。令和4年度10月までの排出量、総排出量になるが、65,382tというのが直近の数字になっている。続いて、令和3年度が67,788tで、排出量の数字だけ比べると、3.5%減少している。誤解のないように説明させていただくが、これが1年間継続していった場合であっても、1人1日あたりのごみ排出量という場合には、人口減少が福島市で進んでいるという実態もあるので、人口減少の分を加味すると、同じく3.5%減ることにはならない。ただし、総排出量としては、減少傾向が続いている。</p> <p>もう1点、先程話があったとおり、株式会社ジモティー、最近CMも入ったりしているので、ご覧になっている方もいるかもしれないが、そういったところと、「おいくら」という名前でリユースサイトを運営している株式会社マーケットエンタープライズの2社と12月21日に連携協定を締結した。どちらも粗大ごみとして出されてい</p>

次長	<p>るものをリユース品として買い取ってもらうことなどができるというような内容となっている。昨日市長の記者会見の中でも発表していただいたが、ごみ減量推進課のホームページでも掲載している。あくまでも使えるものにはなってしまうが、ソファーとか冷蔵庫などをリユースショップや個人間での売買する際に、中継ぎするような業者になっている。新たにごみ減量化に資する取組として開始したということはこの場を借りて報告させていただく。</p> <p>事務局からは以上となる。</p> <p>ただ今の事務局からの説明に関して、何か質問等はあるか。</p> <p>特になければ、以上を持って、本日の審議会を終了とさせていただきます。</p> <p>本日はお忙しい中、出席いただき感謝申し上げます。</p> <p>以上。</p>
----	---